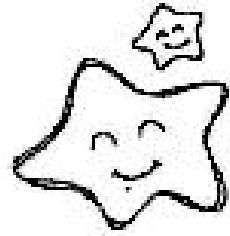


QSK

にぬふあぶし

No.294 ^ね子の方向の星(北極星)

沖縄市地域活動支援センターおきなわ

心のバリアフリー作品展

沖縄市では8/1~9/7を『平和月間』とし、市内各地で平和運動を展開しています。平和月間のプログラムとしては写真展やパネル展示、絵本の読み聞かせ、戦争体験者講話、映画上映などを予定しており、支援センターおきなわからも賛同企画として【心のバリアフリー作品展】を開催しています。

【心のバリアフリー作品展】は、作品を通して生きていることの素晴らしさや自己表現の可能性を感じてもらい、“心のバリアフリー”という視点から日常生活の中で感じる平和

の作品を募集、展示しています。内容は沖縄市内の精神科病院デイケアや施設、地域活動支援センター等の利用者による絵画、イラスト、文芸などの作品展示です。作品の展示日程と会場は下記の通りです。是非お越しください。



展示日程と会場

※緊急事態宣言等の状況によっては変更が生じる場合があります

1.日程:7月30日(金)~8月 7日(土) (8月2日は休館日です)

会場:沖縄市立図書館

住所:沖縄市中央2-28-1 BC コザ1F

2.日程:8月16日(月)~8月27日(金) (平日のみ開催)

会場:沖縄市役所市民ギャラリー

住所:沖縄市仲宗根町26-1

3.日程:8月30日(月)~9月 3日(金)

会場:沖縄市福祉文化プラザ

住所:沖縄市高原7-35-1

※写真は去年の心のバリアフリー作品展の様子です。

日程をご確認の上
お越しください

第10回 精神保健看護研究会

地域活動支援センター はぴわんの取り組みの紹介

「地域活動支援センター」と聞いて、なにを想像するでしょうか？



地域って？ 活動って？ センターって？ そもそもなにが目的？ どうあるべき？
などを共有することで、参加した皆さんへ新たな気づきをお土産にできれば幸いです。

『はぴわん(地域活動支援センター)』は、宜野湾市普天間にて、「安心して失敗できる場所／さまざまな人がつながる場所」をコンセプトに活動しています。報告を聞いた皆さんからの「もっとこうしたら、さらに素敵な場所になるのでは？」などのご意見を頂くことを楽しみにしています。

当日は、はぴわん利用者(精神障がい当事者)の方も参加予定です。

情報提供者: 兼浜 克弥 (沖縄県精神保健福祉会連合会: 地活はぴわん施設長)

日時: 2021年8月19日(木)18:30~20:00

方法: オンライン開催(Zoom 配信)

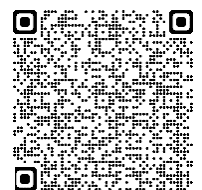
主催: 沖縄県立看護大学 精神保健領域

対象: テーマに関心ある方

下記のURL、またはQRコードを読み取りお申込みください

<https://forms.office.com/r/eerLcrhurf> (※前日までにお問い合わせ)

参加無料
皆さまの参加を
お待ちしております



【お問い合わせ先】沖縄県立看護大学 研究会事務局 (tnaka@okinawa-nurs.ac.jp)



事務局長日記 ～ご挨拶編～

増山 幸司

(6月の定例総会および理事会にて、事務局長を高橋年男さんからバトンタッチしています。まだまだ若輩ですが、今後ともよろしく願いいたします)

【就任報告】

かれこれ9年来やりとりのある辻・本郷税理士法人の担当K氏に、別件の連絡ついで、「増山が事務局長になった」旨をメールすると、「・・・『おめでとうございます』と言ってよいのかわかりませんが、連絡ありがとうございます・・・」と、歯に物の挟まった感じの返事をもらった。「お気の毒さま」と言われるよりはよっぽどよかったのだが、公益法人の仕組みに年じゅう四苦八苦している我々を間近に見ていることと、沖福連の長年の財政事情も把握している専門家として、よくわかっている返事だなあと思った。さらにそのあとには、「気苦労が絶えないと思いますが」という温かい一文も添えられていて、ますますわかってもらえている気持ちになる。

困ったときに相談するといつもの確に、かつ理解の悪い我々にもひたすら忍耐強くアドバイスをくれるK氏は、いまやすっかり欠かせない存在である。

【弱いロボット】

少し前、『弱いロボット』という本を読んだ。ロボット開発は基本、いかに人の役に立つか、高性能かという観点から研究が行われてきたが、それに対して著者の岡田美智男氏の作るロボットは、できないことがいっぱいある。

彼の“ゴミ箱ロボット”は、ゴミ箱の姿をしていて、カメラと車輪が付いている。カメラの目でゴミ探しをするけれど、自分では拾えない。地面にゴミを見つけるとそばまで行って、じっとそれを見つめている。「おや？」と気づいた人が、「このロボットは困っているみたいだ」と察し、ゴミを拾い、カゴに片付けてやる。ロボットはまたひとり、ゴミを探しに出かける。

人間の思いやりとサポートがなければ完結しない、人とのコミュニケーションがあつて初めて成り立つ、岡田氏はこういうふうな、どこかに抜けのあるロボットをたくさん

作っている。

万能の自立型清掃マシンが街をてきぱきと片付けていく景色と、弱いロボットが右往左往しながら人を頼っている景色と、どちらが魅力的に思えるかと問われれば断然後者を選びたくなるのは、増山の感性が(毎度ながら)人とズレているせいだろうか。

困っている人がいればちょっと手を差し伸べたくなる、そういう性質が我々にはだいたい備わっている。人間はそういう生き物だから、これからも安心して困ろうと胸をなでおろす。

【北極星】

「にぬふあぶし」は、沖縄の言葉で北極星をいう。

夜空のいつも同じ位置にあるので、航海のときの道しるべになったというけれど、そんな北極星は実は何度も代替わりをしている。「北極星」という名前の固有の惑星があるわけではなくて、天の北極の辺りにたまたまある星を、そのときごとに北極星・にぬふあぶしと呼んでいる。

いまはポラリス(こぐま座アルファ)だが、その前はコカブ(こぐま座ベータ)という星だった。その前はトウバンだし、その前はエダシクだった。天体の運行からなるその運命に、特に意味があるわけではない。

ポラリスという名前の響きはかわいらしいし宇宙っぽくもあるのでずっとポラリスが北極星ならいいのだけれど、そういうわけにもいかない。



人も天体もそんなふうに移り変わりが宿命づけられている。

編集後記

こんにちは。今月は宮古島からお便りいたします。プラザの庭ではドラゴンフルーツがたくさん実り、マンゴーやズマミの差し入れもいただいて美味しい季節を過ごしています。誰かが気にかけてくれて、何かを共有できるのは仕事といえども毎日の活力になっています。ほんまありがとう～ Y・O

編集： 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1 て
るしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行： 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-24

三原第3ビル3F

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)